

# TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山(永山公民館内)  
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

特別上映会 7/22 (土) ベルブホール (ベルブ永山 5F 京王永山駅・小田急永山駅下車徒歩約2分)

ユーリー・ノルシュテイン監督特集上映

## 「アニメーションの神様、その美しき世界」



©2016 F.S.U.E. C&P SMF

### 《上映作品》

- 『25日・最初の日』 (10分/1968年)
- 『ケルジェネツの戦い』 (10分/1971年)
- 『キツネとウサギ』 (10分/1973年)
- 『アオサギとツル』 (10分/1974年)
- 『霧の中のハリネズミ』 (10分/1975年)
- 『話の話』 (29分/1979年)



土居伸彰氏

ニューディアー代表/新千歳空港国際  
アニメーション映画祭フェスティバル・ディレクター



ひらのりょう氏

アニメーション作家/  
クリエイター

### 上映スケジュール

- 10:30 — 11:50 第1回上映
- 13:30 — 14:50 第2回上映
- 14:50 — 15:40 トーク  
ゲスト: 土居伸彰氏、ひらのりょう氏
- 16:30 — 17:50 第3回上映
- 19:00 — 20:20 第4回上映
- \* 全席自由席・各回入替制
- \* 開場は各回15分前
- \* 上映時間は変更になる場合があります。
- \* ゲストトークはチケット(半券含む)提示で入場できます。

### チケット料金

- 前売 大人(中学生以上) 1,000円
- 当日 大人(中学生以上) 1,200円
- 子ども(4歳~小学生) 600円

\* TAMA映画フォーラム支援会員、障がい者とその付添者1名は当日600円です

### 《トークゲスト》

### 企画者からのメッセージ

今回の『ユーリー・ノルシュテイン監督特集上映 ~アニメーションの神様、その美しき世界~』ではノルシュテイン監督の生誕75周年を記念して制作されたデジタルリマスター版にて代表短篇6本を上映します。

6作はそれぞれ戦争や革命から、ロシア民話まで様々ではありますが、全作共通して映像に独特な世界観があり、私はその美しさに圧倒されました。大人から子供まで、すべての世代が様々な視点で楽しめる作品だと思います。多摩近辺ではあまり上映されていないと知り、是非この機会にと思ひましてこのたび企画させていただきました。ストーリーが少し難しい作品もありますが、暑い夏の1日をノルシュテインの映画について考えて過ごしてみるのはいかがでしょうか。

トークゲストとしてニューディアー代表の土居伸彰氏とアニメーション作家のひらのりょう氏がお越しくださいます。是非トークと合わせて映画の世界を堪能してください。(都築彩花)

特別上映会特設ページ <http://www.tamaeiga.org/special/norshteyn>



## 実行委員のおススメ映画コーナー

### 『メアリと魔女の花』(米林宏昌 監督/2017年)

赤い館村に引っ越してきた11歳の赤毛にそばかすの主人公・メアリは突然、魔女の世界へ足を踏み入れてしまう。

2015年、世界が賞賛したスタジオジブリの温かさのある手描き美術が消えてしまうことが惜しまれた。しかし、数々のジブリ作品で活躍した彼らが再び集まり「スタジオポノック」が誕生した。

私が初めて出会った魔女はジブリ映画『魔女の宅急便』の主人公・キキであった。彼女はいかにも魔女らしい姿に赤いリボン、ほうきを片手に成長していく。しっかり者というイメージだ。

一方、メアリは彼女より幼く、好奇心旺盛な普通の女の子。そんなメアリが“魔女の花”を見つけてしまうことで、魔女の力を手にすることになる。

主人公の声を女優・杉咲花が演じる。監督はこの作品を製作する際、彼女の声を聴きながらメアリを作ったそうだ。杉咲花のカラフルで愛しい声にも注目だ。ほかにも、日本映画界で唯一無二の存在感を放つ豪華な俳優陣が、本作に命を吹き込む。

決して器用ではない天真爛漫で真っ直ぐなメアリが、困難に立ち向かい、一生懸命に頑張る姿に背中を押される。この映画の誕生により、新たな魔女像が多くの人の心に刻まれるだろう。(浅見友美子)

### 『こどもつかい』(清水崇 監督/2017年)

夏だし、ちょっと涼みに行こうという感覚で劇場に足を運んだ。

しかしこれは単なるホラー映画ではなかった。謎めいた男“こどもつかい”によって子どもが連れ去られ、3日後にはその周りの大人が亡くなるという怪事件から物語は始まる。確かにヒヤッとする怖い場面はあるのだが、児童虐待という現代社会が抱える問題が根底にあり、人間の内面に迫った物語の展開など、観たあとに考えさせられる内容であった。

“こどもつかい”役の主演の滝沢秀明は、特殊メイクを施し存在感抜群の怪演ぶり。コミカルな動きやお茶目な一面は『チャーリーとチョコレート工場』のジョニー・デップを彷彿させ、思わずクスッと笑ってしまった。また劇中に何度も登場する「こどものうた」は、子どもが歌うからこそその恐怖と奇妙さで、しばらく頭から離れなかった。

「ホラー映画」という枠組みのなかに現代社会で起きている問題が描かれ、監督のメッセージを感じることができる。そしてしっかりと練られた物語にどんどん引き込まれていく。コミカルなシーンも多いため子どもから大人まで楽しめる、新感覚なホラー映画なのではないかと思う。この夏にぜひ、家族や友人と楽しんでみては。(福原佳奈)

### 『パプリカ』(今敏 監督/2006年)

2010年に他界してしまったが、海外からも高く評価を受け、宮崎駿監督に並ぶと言われている今敏監督。生きていれば今でも日本を代表するアニメーション監督として第一線を走っていたであろう。

今作『パプリカ』は監督最後の長編アニメーション映画作品である。他人の夢を共有できるように開発された装置を悪用し、他人の夢に強制侵入し悪夢を見せて精神を崩壊させるという犯罪に立ち向かう研究員、千葉敦子/パプリカ一行を描く。原作はSF御三家の1人、筒井康隆。

今作を初めて観たときの衝撃は今でも忘れられない。今までこんなにアニメ映画を夢中で観たことはなかった。夢と現実の交錯に観るものは惑わされる。しかしその交錯こそが今作最大の快感でもあると言えるだろう。吸い込まれるような極色彩に魅了されながら気付けば世界に没頭している。

悪夢のモチーフとも言えるパレードのシーンは画面一杯に狂気が詰め込まれており、細部まで描き込まれた絵は1番の見どころの一つでもある。今敏監督とは何作かタッグを組んでいる平沢進の音楽が作り出す相乗効果も素晴らしい。まさに夢の映画である。

鑑賞後に夢を見た際には、どこかにパプリカの姿を探したくなるに違いない。(久保麻美)

ここでは実行委員のおススメ作品を紹介いたします。ネタバレもありますのでご注意ください。

### □□□□□□ □□□□□□ 『サマーウォーズ』 (細田守 監督 / 2009年)

細田守監督初の長編オリジナル作品。毎年夏に観たくなる映画。

この映画の冒頭はインターネット上の仮想世界「OZ」の説明から始まるが、非現実的な「OZ」の世界観にすぐに引き込まれた。そして、主人公の健二が訪れる長野県上田市は、古き良き日本を表しているようで、温かさを感じる。

「OZ」が人工知能に乗っ取られ、人間が人工知能に翻弄される場面は、ネット社会の恐ろしさを感じる。とてもリアルに描かれているため、このような出来事が実際に起こるのではないかと考えてしまう。

この映画の一番のテーマは人と人とのつながりであるだろう。健二や夏希、その親戚は、「つながり」という武器で、人工知能を倒したのだ。SNSが発達し、人同士の直接的なつながりが薄れてきているが、そのような時代に一番大切なことは何なのかを教えてくれる映画である。

この映画を観終わったあと、Enter キーを勢いよく押したくなるに違いない。(福田稔真)

### 『ファンタスティック・プラネット』 (ルネ・ラルー 監督 / 1973年) □□□□□□ □□□□

1973年にフランス/チェコスロバキアで製作されたカルト的切り絵アニメーション。

この見たこともない世界。絵に、音に、動きに、生き物たち。

きっと小さな頃に観ていたらトラウマになってしまうだろう。

青い巨大な体に赤い目をしたドラッグ人が支配する星。惑星イガム。

ここでは人間(オム族)はペットや害虫のように扱われていた。ドラッグ人の少女ティバのペットであったテールは、ドラッグ人の高等技術によって作られた学習装置を盗み出し、人間を率いてドラッグ人と戦う。

ストーリーはとても分かりやすい。しかし、映画を観終わったあと、この映画は何だったんだ? という不思議な感覚に陥る。それはこの映画の独特すぎる世界観に飲み込まれてしまったからだろうか。

絵本の中に閉じ込められてしまった気分になる。映画というよりも芸術作品のようだ。

トラウマになるほどの強烈なビジュアルや、あまりにも独特な世界観に虜になることは間違いなし。ぜひ観てほしい映画だ。(加山萌)

### □□□□□□ □□□□□□ 『言の葉の庭』 (新海誠 監督 / 2013年)

驚きの映像美だった。公園の風景や雨の水しぶき、光の描写に何度も圧倒された。時折アニメーションではなく、実写なのではないかと自分の目を疑った。

高校生のタカオは、雨が降ると午前中だけ高校をさぼり、日本庭園で靴のスケッチをする。ある日タカオは、日本庭園で、缶ビールとチョコを食べる女性に出会う。二人の間に決められた約束はないまま、雨の日の午前中に会うようになり、お互いに心を通わせていくのである。

昨年、大ヒットした『君の名は。』の新海誠監督の作品のなかでも、より日常に焦点をあてた作品なのではないだろうか。しかし、その日常のなかにも新海監督ならではの世界観が詰まっている。ラストシーンでは、決して実写では再現することのできないカメラワークに迫力を感じることも間違いはない。

この映画を見たら、少しでも雨の日を特別に感じられるのではないだろうか。

そして、新たな東京を感じることができるとはのではないだろうか。(亀田悠香)

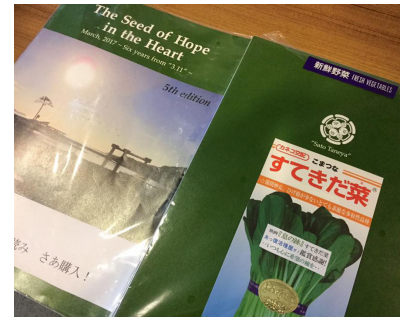




6/18(日)  
ベルブホール

# 息の跡

trace of breath



「The Seed of Hope in the Heart」の表紙

6月18日のTAMA映画フォーラム特別上映会では『息の跡』(監督:小森はるか)を上映いたしました。上映当日はあいにくの雨でしたが、2017年のドキュメンタリー映画を代表する1本として、また才能あふれる新人監督のデビュー作としてご注目をいただきまして、老若男女幅広いお客様にご来場いただいた一日となりました。

本作『息の跡』は岩手県陸前高田市でたね屋を営む佐藤貞一さんの日々の営みを記録したドキュメンタリー映画です。震災により多くのものが消えてしまっていた町で、ご自身も津波により自宅兼店舗を流されてしまいがながらも「心に希望の種を。ふるさとの街に復興の種を。そして被災地に幸せの種を」と過去を想いながら未来へ希望の種をまく佐藤さんの姿は、映画を通じて大切ななにかをわたしたち観客に教えてくれたのではないのでしょうか。

なお、当日は映画パンフレットと、佐藤さんの手記「The Seed of Hope in the Heart」を販売しておりましたが、大変ご好評をいただき、両冊ともに早い時間で完売となってしまいました。ご購入をご希望されていた方にはご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。「The Seed of Hope in the Heart」については通信販売でも購入可能とのことですので、是非インターネットで検索してみてください。(宮崎洋平)

## 次回特別上映会

8/26(土) ベルブホール

# わすれな草



『わすれな草』(ダーヴィット・ジーヴェキング監督)を上映いたします。お楽しみに。

© Lichtblick Media GmbH



## お知らせコーナー



### たまシネマ隊募集!

TAMA映画フォーラム実行委員会は、2017年11月18日~11月26日に開催予定の第27回映画祭TAMA CINEMA FORUMをサポートするたまシネマ隊を募集します!説明会は9月18日(月・祝)、10月21日(土)を予定しています。応募方法などの詳細は後日ホームページで発表いたします。



### 支援会員制度のお願い

当映画祭を一緒に支えて頂ける支援会員を募集しています。映画を「観る人、観せる人、創る人」の交流の場づくりを通じた、地域と日本映画界の活性化に向けて、資金面でサポート頂けませんか。

ご支援頂いた方には特典をご用意していますので、ぜひご協力をお願いいたします。

[支援金寄付 個人会員] 一口1000円から

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会

(ご不明な点はお問い合わせください)

特典①: 映画祭チラシ送付

特典②: 映画祭パンフレット贈呈

特典③: 特別上映会割引

(当日チケットを、支援会員特別価格に。)

上映会は2~8月の間に4~5回開催予定)

その他特典もご用意する予定です。

※支援会員のお申込みがホームページからもできるようになりました!ぜひご活用ください。

## おすすめ映画番外編

### 『シン・アルマゲドン』

(ニック・ライオン監督/2016年)

『アルマゲドン』といえばブルース・ウィルス主演の大ヒット映画になりますが、この作品にはシリーズ(便乗)作品がたくさんあります。『アルマゲドン2007』『アルマゲドン2008』『アルマゲドン2010』『アルマゲドン2011』『アルマゲドン2012』『アルマゲドン20XX』『アルマゲドン・パニック』などなど。

つい最近『シン・アルマゲドン』という作品を某所で観ました。太陽の爆発で地球がどっかへ行ってしまう、必死に元に戻ろうとするお話でした。意外に普通に面白かったです。レンタルショップで見かけたらぜひ観てください。

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ [www.tamaeiga.org](http://www.tamaeiga.org)



@tamaeiga (最新情報をフォロー)



[www.facebook.com/tamaeiga](http://www.facebook.com/tamaeiga) (facebookページに「いいね!」で参加)